



トキの繁殖期間は、観察を控えましょう

佐渡トキ保護センターで飼育されているトキのペアから、3月8日に今年初めての産卵がありました。産卵確認日としては、同センターにおける繁殖事例の中で最も早い記録となりました。

野生のトキも、3月から6月は繁殖期です。昨年はペアの形成はできませんでした。今年もペア形成の様子がうかがわれ、繁殖の成功に期待が持たれます。

繁殖期は、種(しゅ)にとって、世代交代をし、命をつなぐ一番大事なときです。繁殖期間中のトキは、とても神経質になります。人が巣に近づいたりしてストレスを感じると、巣づくりや子育てをやめてしまうことがあります。

トキは卵を抱いたりヒナを育てる本能を持っていますが、外敵が来れば恐怖に負けて逃げます。人が巣に近づいてしまうと、親のトキが巣から去ってしまい、そのあいだに他の鳥などが巣に入り、卵やヒナを食べたりすることがあります。また、カラスや猛禽類などの生きものが人間の動きを見て、トキの巣を見つけてしまうこともありま

繁殖期間中は、トキの営巣場所付近への立ち入りはご遠慮ください。繁殖が成功すれば、トキの親子が元気に佐渡の空を羽ばたく姿が見られることでしょう。



世界遺産登録に向けて

平成21年度、新たに国指定となった文化財を紹介します。

国史跡

佐渡金山遺跡

吹上海岸石切場跡

平成21年7月に国史跡「佐渡金山遺跡」に追加指定された吹上海岸石切場跡は、相川市街地の北、下相川地内の海岸部にあり、主に鉾山用石磨(上磨)とするための石を切り出した石切場です。海岸線に沿って露出する岩場には、矢穴(くさび)を打



吹上海岸石切場跡



波打ち際に残る矢穴

◆市役所世界遺産推進課  
☎ 63 | 5136

ち込む穴)やのみ跡などの石を切り出した痕跡が生々しく残っています。石磨は鉾石を砕いて粉にするための必需品であったことから大量に製作されました。この遺跡は、鉾山生産システムの重要な要素であるといえます。明治時代以降、鉾山の近代化に伴い石磨は使われなくなりましたが、鉾山集落のあった上相川遺跡や相川市街地の石垣石に転用されたものなど、相川では現在もたくさんの石磨を見ることができます。

